

邦字紙上に表はれた

文藝私見

過去六年間伯刺西爾時報なり日伯紙上なりに載せられた創作或は詩歌など希望され等を通じて私の此迄に感じた感を書きしるして見やう。今成る人は何、高の知れた殖民地に何の見るべきものがもらうかと所謂殖民文藝とか云ふ個體の名を冠して一瞥にも値しないもののか様にさへ取扱つて居る、然し私はそれ等が如何に幼稚なものであるにせよ、野の叢に咲く薔薇の一輪か、又生垣の邊に垂れし女郎花の一枝の風情に似たる趣のほの見ゆるものがあるとさへ思ふ。一概に貶し去るには餘りに素氣なく味氣ない氣さへする、相當見る可き認む可きものが決して無いでもなかつた。

例へその字句修字に極めて拙劣幼稚の點あるにせよ、感じた儘の心境に即して心に映じた自然の閃きの籠れる詩歌、又創作に於てその捕へる境地の邊狹に單調なるきらひあるにせよ艶ながらも自他の心事を穿つに相當大膽に而かも纖細に秘められた角認のられ得るだけの詩歌なり創作なりは全く曉る星の如き觀があつたえと作さへ時折認められて來た。然し乍ら此の數年間を通じて兎に角認のられ得るだけの詩歌なり創作なりは全く曉る星の如き觀があつたえと作さへ時折認められて來た。

然し私達の前途は洋々春の海に満むる程のものに到つては更に認める事さへ困難であつた。畢竟此處ラジルの両紙上に現はれたものを一貫して得たる私の感じを赤裸々に述べるに悲しい哉まだ前途遠遠の一語を發しなければならぬ。

然し私達の前途は洋々春の海に満むる程のものに到つては更に認める事さへ困難であつた。

畢竟此處ラジルの両紙上に現はれたものを一貫して得たる私の感じを赤裸々に述べるに悲しい哉まだ前途遠遠の一語を發しなければならぬ。

邦字紙上に表はれた

文藝私見

